

1 調査対象者・調査日

(1) 保護者

三者懇談時に、保護者全員の方に担任経由で依頼し、269人(29年度295人)の方から回答をいただいた。

(調査日：7月13日から20日、回答率；78.9%)

(2) 生徒

生徒全員にSHR、LHRの時間を利用して調査を実施し、345人から回答を得た。

(調査日：7月1日から20日、回答率；98.3%)

2 アンケート票の見方

(1) 上段太字の数字は平成30年度、下段の数字は平成29年度のデータである。

(2) 評価平均点は、評価Aを4点、評価Bを3点、評価Cを2点、評価Dを1点、評価Eを0点とした項目毎の平均である。

3 分析結果

大項目毎の全体のA評価(よくあてはまる)とB評価(ややあてはまる)の合計(以下「肯定的評価」という)は、次の表のようである。(黄色は昨年度より高評価のもの)

大項目 \ 対象	保護者 269人(295人)	生徒 345人(349人)
① 教育方針・学校経営	89% (86%)	84% (88%)
② 家庭との連携	85% (81%)	80% (75%)
③ 教職員	92% (91%)	81% (82%)
④ 学習指導	87% (90%)	83% (83%)
⑤ 生徒指導	86% (83%)	87% (88%)
⑥ 進路指導	90% (88%)	88% (88%)
⑦ 健康管理・安全指導	90% (86%)	87% (87%)
⑧ 学校行事等	87% (84%)	79% (77%)
⑨ 学校独自項目	88% (86%)	85% (82%)
全項目	88% (86%)	84% (84%)

( ) 内は前年度

(1) 保護者

昨年度と同じく全ての大項目について肯定的評価が8割を超えるなど、昨年度までと同様に保護者からの高い評価が続いている。「教育方針」「家庭との連携」「教職員」「学習指導」「生徒指導」「進路指導」「健康安全・安全指導」「学校行事」「学校独自項目」の全てにおいて、本年度は肯定的評価が85%を超えており、家庭との連携を深めながら生徒一人一人に応じた指導を推進してきたことが評価に表れているといえる。しかし、「学習指導」の項目についてのみ、昨年度に比べて僅かであるが評価が下がったことは残念である。

- ① 「教育方針・学校経営」「家庭との連携」については、一昨年度大幅に評価が上昇したが、本年度はさらに高い評価を得た。今後もさらに機会をとらえて学校の指導方針等をわかりやすく伝えていきたい。また、今後も保護者はもとより地域の方たちにも八百津高校のよさをアピールしていきたい。
- ② 「教職員」については、昨年度もっとも高い伸び率であったが、本年度も5項目中3項目で平均の評価が向上している。中でも「一斉配信メールシステム(すぐメール)」について、本年度はさらに大幅に評価が高くなっており、今後もすぐメールの有効な利用を心がけたい。保護者のさらなる登録も促していきたい。昨年度、「学年通信」などの見直しを図った結果、評価が上がったが、本年度は少し評価が下がっている。「学校職員の対応」についても若干評価が下がっ

ているので、教職員の日々の丁寧で熱心な対応がさらに求められる。今後も魅力ある学校づくりに全職員で取り組みたい。

- ③ 「学習指導」については、昨年度全体的に向上したが本年度は若干評価が下がっている項目もあった。昨年度高く評価された「一人一人の生徒の能力に合わせた指導」についての評価が下がったことは残念である。さらに今後は選択授業や少人数授業により生徒の理解を高めていく指導体制を大切にしていきたい。
- ④ 「生徒指導」については、5項目全てについての項目で評価の向上が見られた。本年度高い評価を得た「いじめや差別への厳しい対応」については今後も全職員がアンテナを高くすることで、いじめの未然防止に努めていきたい。また体罰を未然に防止する研修等を充実させていき、保護者と学校が一体となった指導を今後も進めていくように配慮していきたい。
- ⑤ 「進路指導」については、昨年度より高い評価であった。3年目となるデュアルシステムの進捗状況など、学年に応じた進路情報の提示などにより各学年段階での進路選択についての働きかけを進めてキャリア教育の推進にさらに努めていきたい。
- ⑥ 「健康管理・安全指導」については、昨年度よりさらに評価が向上している。特に「地震・台風の対応について」は昨年度に比べ高い評価を得た。今後もさらに、生徒一人一人が状況に応じて考えながら行動できるように、日常の活動から防災教育の視点で危険予知能力の向上を図っていききたい。本年度初めて参加した「防災アカデミー」(9名)にも継続して取り組み防災リーダーの育成に努めたい。
- ⑦ 「学校行事等」においては、5項目中4項目で評価が向上している。昨年度5項目すべての評価の向上が見られたが、今年度は「学校の施設・設備」で僅かながら評価が下がっている。学校の施設・設備の充実を図るとともに、様々な活動を通して生徒自身が成長を実感できるようにしていきたい。
- ⑧ 「学校独自項目」についても、6項目全てにおいて評価が向上している。3年続けて6項目全ての評価の向上が見られ、今年度も評価が向上した。項目の「ボランティア活動」「キャリア教育」の伸び率が大きく、八百津町を中心とした様々なボランティア活動への参加生徒が増加していることや普通科高校でありながら社会人としての自立を育てる取組が高く評価されていることが分かる。今後も地域の期待を受けて日々の教育活動に取り組んでいきたい。

## (2) 生徒

一昨年度まで、生徒の評価は全体的に厳しい傾向にあった。しかし、昨年度は9項目中7項目が8割を超える高評価となった。そのため、本年度は昨年度を上回る高評価を得た項目は3項目にとどまることとなった。また、3項目において昨年度を若干下回る結果となったことは残念である。

- ① 「教育方針・学校経営」については、2項目について昨年度を下回ってしまった。今後はさらに学校の基本方針が生徒にも理解され受け入れられていくように、機会をとらえて伝えていきたい。本年度は昨年度に比べて「本校に入学できて良かったと思っている」の項目が昨年度に比べて低い評価となってしまったので、卒業時に多くの生徒が、本校のキャッチフレーズである「自分を変えることができる学校」だったと自己有用感を自覚して巣立つことができるように職員一丸となって日々の教育に取り組んでいきたい。
- ② 「家庭との連携」については、3項目全てにおいて向上が見られ、昨年度に比べて高い伸び率であった。全体としても高評価となっている。一昨年度からのHPのリニューアルに伴って部活動などのページもその都度更新していることなどへの認知度も高まっていることが考えられる。さらに、今年度も力を入れている「いま八百津高校では」の定期的な発行や学年通信・クラス通信等も功を奏していると考えられる。今後も八百津高校の魅力や現状を様々な形で発信していきたい。
- ③ 「教職員」についても、4項目中3項目で向上が見られる。今後も授業改善のみならず、想いや考えを素直に出し合える教師と生徒の関係作りに重点を置き、生徒の不安や悩みに寄り添った指導を推進していくことで、「悩みや相談事への親切な対応」などのさらなる向上を図っていききたい。
- ④ 「学習指導」についても、4項目全てにおいて昨年度の評価より上がっている。今後も生徒自

身に学力向上の意義を感じさせて、評価をさらに伸ばしていきたい。また総合的な学習の時間についても、活動のねらいをきちんと理解させて取り組ませることを重視していきたい。

- ⑤ 「生徒指導」については、4項目中3項目で昨年度の評価より上がっている。「いじめへの対応」「体罰」の項目については昨年度高い伸び率であったが、本年度もさらに高評価となっている。全体としては高い評価となっているが、評価が下がった「服装・頭髪の指導」については、今後はさらに一人一人に応じた服装・マナー指導を推進し、日常の姿が自分たちの進路実現に結びつくことを実感させていきたい。
- ⑥ 「進路指導」については、どの項目も昨年度より評価を上げている。企業実習や選択教科に向けた指導など、各学年の自己決定する節目をとらえ、一人一人に将来どんな職業に就きたいのか、そのために今何に取り組まなければならないかを考えさせるキャリア教育を今後も学年に応じて進めていきたい。
- ⑦ 「健康管理・安全指導」については、昨年度大きく伸びたが、今年度も昨年に比べ全ての項目において大きく評価を上げている。学校行事等と関連付けながら健康管理・安全指導について働きかけを行ってきた結果であろう。また、保護者同様に評価の高かった災害時の対応マニュアルの徹底した説明と実施を今後も続けていきたい。
- ⑧ 「学校行事等」については、ほとんどの項目で昨年度より高い評価を得た。しかし、「校内清掃」で昨年度を下回った。多くの項目で評価が上がったにもかかわらず評価が下がったのは残念である。日々の生活の中で環境美化を訴えていきたい。  
昨年度に続いて、「生徒会活動」については高い伸び率であった。これは特別活動部を中心とした日々の生徒への指導が功を奏したと考えられる。今後も是非続けていきたい。
- ⑨ 「学校独自項目」については、全ての項目が向上した。特に「中高一貫」の項目について高い伸び率であった。本校野球部の夏の大会に八百津中学校吹奏楽部応援や東部中学校1年生のボート体験など、二つの中学校との連携がうまくいっていることが浸透していることが考えられる。今後も本校の特色の両輪である「デュアルシステム」と「連携型中高一貫教育」について検討・改善を図り、さらに魅力ある学校づくりに取り組んでいきたい。